

公益財団法人 **交通協力会**



## 沿革と活動

本会は、第二次世界大戦中の1943（昭和18）年に財団法人陸運協力会として発足しました。戦後、財団法人交通協力会と改称し、「交通新聞」をはじめ交通運輸に関する雑誌、図書などを刊行しながら交通事業の発展に寄与してきました。

1987（昭和62）年の国鉄改革に伴って本会を取り巻く環境も大きく変化し、新たに設立された株式会社交通新聞社に新聞発行等の収益事業を移管して、本会は公益に資する事業に専念することになりました。その後、国の公益法人制度の改革に即して、公益財団法人の認定を受け、2011（平成23）年8月に公益財団法人交通協力会として新たな出発をしました。

以来、交通図書賞の選定・表彰、交通講演会の開催、電子図書館の運営、交通年鑑の発行、鉄道史資料の調査研究とその成果物の出版などの事業を展開してきました。そのような活動の一環として、我が国の鉄道が2022年に創業150周年を迎えることから、国土交通省、鉄道・運輸機構、JR各社、日本交通協会、民営鉄道協会等々と協力して「鉄道百五十年史」の編纂を進めています。本事業は、総事業費3億円を超える大プロジェクトであり、完成までの間、本会事業の軸と位置付けられるものです。ただ、新型コロナの感染症拡大という思わぬ事態が発生し、会合の見合わせ、図書館の利用制限などにより執筆作業全体にやや遅れを生じました。また、新型コロナ感染症が鉄道事業経営にも甚大な影響が及んだ事実を2022年に至るまで克明に記述する必要があることから、刊行時期を新たに2023年とし、鋭意取り組んでおります。



鉄道百五十年史編集委員会



交通図書賞受賞図書（2022年度）



## 主な事業内容

### 鉄道百五十年史編纂事業

1872（明治5）年の鉄道開業以来、50年目、100年目の節目には、それぞれ官営鉄道、国鉄を中心とした鉄道史の編纂・刊行が行なわれてきました。150年目となる2022年までの歴史を、国鉄のみならず、民営鉄道・公営鉄道も含めた総合鉄道史として企画し、現在、編集委員会を中心に編纂作業が進められています。出版者となる本会は、本企画の事務局機能を担うとともに、交通関係史資料を執筆者に継続的に提供することにより、「鉄道百五十年史」の刊行に向け活動してまいります。

### 交通図書賞

交通に関する優良図書を、「経済・経営」、「技術」、「歴史」、「一般」の4部門に分けて選定・表彰し、広くこれを推奨することにより、交通知識の普及と交通従事者の教養の向上に資することを目指しています。本賞は、国土交通省幹部並びに交通関係の有識者による審査のもと、1975（昭和50）年から継続しているものです。

### 交通講演会

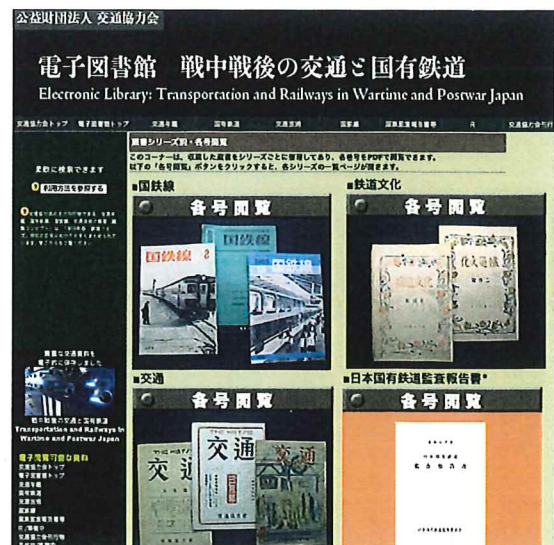
常に変化する環境下で交通事業の持続的発展の道を探るため、有識者と実務家による講演と議論の場を提供するために開催しているものです。従前は、「鉄道の将来展望」などのテーマで、シンポジウム形式で行われてきましたが、鉄道開業150年目が視野に入る時期となり、鉄道百五十年史編纂が進められる中、鉄道百五十年史の編集委員等を講師に迎え「鉄道史シリーズ」として継続しています。

### 電子図書館

旧国鉄の発行した雑誌（「国有鉄道」、「国鉄線」、「交通技術」）、日本国有鉄道監査報告書、交通年鑑など、貴重な記録をデジタル・データ化し、2010（平成22）年度からインターネット上で公開しているものです。本会のホームページから「電子図書館」にアクセスし、パスワードを取得することで無料で閲覧することができます。



交通講演会



電子図書館 収蔵資料（例）

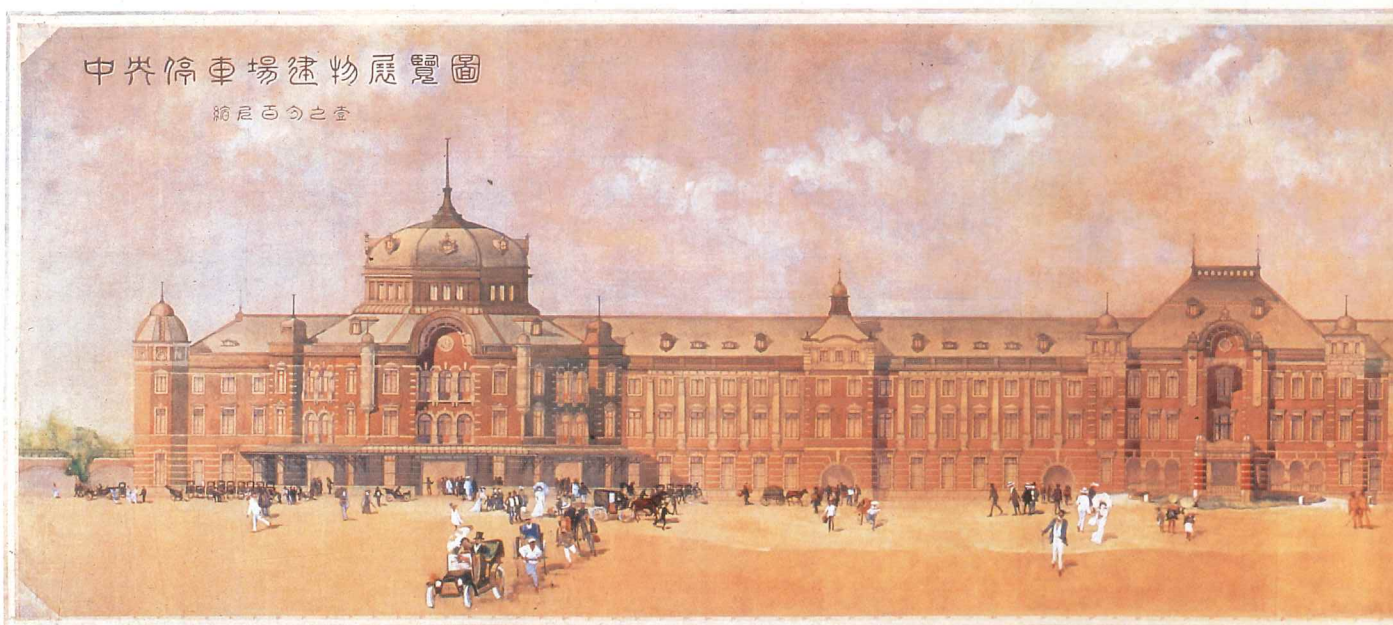


## 評議員

深澤	祐二	東日本旅客鉄道株式会社社長
真鍋	精志	西日本旅客鉄道株式会社相談役
金子	慎	東海旅客鉄道株式会社社長
梅崎	壽	東京地下鉄株式会社名誉顧問
石田	義雄	一般社団法人日本交通協会副会長
林	康雄	一般社団法人日本鉄道技術協会会長
渡辺	郁夫	公益財団法人鉄道総合技術研究所理事長

## 役員

会長・理事	長	上野	文雄
常務理事	理事	石堂	正信
理事	理事	浅井	克巳
理事	理事	伊藤	嘉道
監事	監事	真貝	康一
監事	監事	高村	守



「中央停車場建物展覧図」明治43年、辰野金吾・葛西萬司作 原図サイズ730mm×3420mm 鉄道博物館提供

公益財団法人

**交通協力会**

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目4番1号 新国際ビル9階

TEL 03-6269-9808 FAX 03-6269-9809

<http://transport.or.jp>